

活動名	団体名	こどもステーション
歌による子どもたちの表現活動の支援 子ども・子育て情報紙の発行による 地域の中での子育てを支援	地 域	広島県福山市
	代 表 者	代表 奥野 しのぶ
	支援金額	30万円
活動概要	<p>子どもコーラス「コール・バンビ」の運営により、子どもたちがその年齢に適した音楽活動を行うことで、表現することの楽しみ喜びを見つけ出し、子どもたちを取り巻くおとななど子どもたちが、お互いに尊重しあいながらエンパワメントできる関係作りをサポートします。</p> <p>子ども・子育て情報誌「はらっぱ」の発行を通じ、子どもたちや子育て中の親同士が参加できる地域の子育て支援情報を提供しながら、地域のネットワークをつくり出します。</p> <p>◆実施時期：2009年4月1日～2010年3月31日 福山市神辺町</p> <p>◆参加人数：子どもコーラス「コール・バンビ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ①毎週水曜日(全40回) 参加子ど�数 4月14名、5月15名、6月13名、7月10名、8月7名、9月6名、10月16名、11月16名、12月14名、1月15名、2月18名、3月18名 コンサート子ども出演者数 ②2009年10月18日 クルトピア明郷ファミリーコンサート 3名 ③2010年3月22日 コール・バンビコンサート 100名 子ども・子育て情報誌「はらっぱ」発行 毎月最終木曜日発行2009年5月号～2010年4月号各1,800部 <p>参加総人員 270名</p>	



《コールバンビ コンサート風景》



《コールバンビ コンサート風景》



《コールバンビ コンサート風景》



《練習風景》

◆実施に伴う効果

コール・バンビの歌声は、②③のコンサートを通じて、たくさんの方々に感動を与えました。特に③のコールバンビコンサートでは、大ホールで開かれるコンサートなどにはなかなか出かけられない地域の高齢の方々に、「とても楽しかった」「来年もまたやって欲しい」「長生きしてよかったです」と大変感謝されました。「発達障害なのだけれど参加できますか」と言っていた子どもも、短い期間でしたが、お互いの違いを尊重しあう仲間の中で、緊張しつつも、本番にはみごとなハーモニーを響かせていました。ご両親は、我が子の姿に感動して涙を流していました。

子育て支援情報をいただいて掲載し、配布・設置にご協力いただいている幼稚園・保育所などから、「保護者の方からも園庭開放の日にちなど確認でき好評です」「他機関の子育て支援も確認でき、毎月楽しみにしているようです」と喜んでいただけています。子育て中の保護者からは、毎月発行を待ちわびる声が聞こえています。初めて子育て支援活動に参加される方に「『はらっぱ』を見て参加してみようと思いました」と言われる事が多いです。2009年度のこどもステーションの子育てひろば参加者合計は、3,200人を上回っています。情報誌の効果は大変大きいと思われます。また、これまでに参加することができていない保護者にとっても『いつか行ってみたい』と思える場所があるということが、子育てに安心感をもたらすという声も聞いています。

◆苦労した点

子どもコーラス「コール・バンビ」では、参加者集めに大変苦労しました。通年の活動には名義後援を得ることができなかったため、学校を通じて子どもたちに活動の存在を知らせることができませんでした。また、予算が不足していたため、参加費を下げるることはできず、参加者が増えてからの検討事項となっていましたが、ついに十分な参加者で活動するには至らず、講師の謝礼を十分に支払うことができませんでした。しかし、講師のご協力ご理解を得て、活動を続けることができました。

子ども・子育て情報誌「はらっぱ」では、紙代・郵送料・イラスト料の支払いなどに予算を当てることができ、大変助かりました。公益性の高い活動であると自負していますが、民間団体の発行物であるということで神辺町内の一部の公民館では設置してもらうことができませんでした。しかし、設置や配布をお願いしている約50ものスーパー・病院・保育所・幼稚園などの機関からは大変好評で、子育て支援に関するさまざまな情報をいただくことにも協力を得ることができ、この情報誌を通じて神辺町に大きなネットワークが出来上がっていると感じています。

◆今後の課題・発展の方向性

子どもコーラス「コール・バンビ」は、2010年3月末をもって、こどもステーション主催では活動を休止しています。しかし、そこに集ってコーラスを楽しんでいた子どもたちを見捨てることはできず、講師の先生にお願いし、活動を継続していただけています。いつか、こどもステーションの拠点ができ、事務局体制などが整った暁には、活動を再開し、子どもが表現活動に参加できる場を実現していきたいと考えています。

子ども・子育て情報誌「はらっぱ」においては、2010年度は、福山市キーワードモデル事業として提案し、行政との協働事業として活動することで、公益性を認めてもらえるようにしていきます。発行部数や設置箇所などを増やしていく予定です。そしてその内容の魅力作りに努め、情報誌に対して、広告や支援が集まるような活動にしていきたいと考えています。

◆活動を終えての感想・意見等

子どもコーラス「コール・バンビ」では、私たちにとっては少し背伸びをした活動となりましたが、参加した子どもたちやそこに関わった大人にとっては、大変忘れがたい有意義な活動となりました。経済的な事情で参加にはいたらなかった子どもには大変申し訳なかったと思っていますし、子どもたちの放課後の自由な時間がますます少なくなっていく現状にも危機を感じています。

子ども・子育て情報誌「はらっぱ」は、今後ますます注目を集める活動となっていくと思います。そこで将来的には、作成・編集・配布に関する人件費なども支払えるよう、活動していきたいと思います。